私は、常に技術革新の最前線にある自動車業界に興味を持っていますが、その中で、御社の「社会に役立つ」という理念にすごく共感（きょうかん）しました。

御社は世界で初めて量産型EVを発売し、国内も初めて自動運転支援機能を実用化しました。御社はいつも革新的な技術を探求しています。それに対して、私は深く共感（きょうかん）しています。また、御社はNissan Energy戦略を唱（とな）えて、電気自動車にさらに深い価値を与えました。私はこのような社会的な影響を考え、持続（じぞく）可能な開発に重点を置いていることにすごく感動されています。私も御社で、自分のスキルと情熱を使って、成長（せいちょう）しながら、社会の発展に貢献したいと思います。

もし御社に入社することができましたら、私がソフトウェア開発に携わ（たずさわ）りたいと思います。自分が部活で学んだマネジメント経験と、学業（がくぎょう）で培（つちか）ったソフトウェア開発経験を活かして、より良い価値を創造していきたいと考えています。

以上です。

**なぜISIT**

私が情報システム部門を第一志望として選んだ理由は、御社が目指す「全社的なデジタル化推進」という戦略に大きな魅力を感じたからです。

現代社会では、デジタル技術の進展が速い、企業が競争力を維持し、さらに, 市場におけるリーダーシップを確立するためには、デジタル変革が不可欠（ふかけつ）だと考えています。

情報システム部門がこのような重要な役割を担っていること、そして私自身がその変革の一翼（いちよく）を担い、デジタル変革のプロセスにおいて、新しい技術を使い、企業の進化に寄与（きよ）することで、技術革新の最前線で成長していきたいと考えています。

御社がこのデジタル時代においても引き続き業界をリードし続けるために、私は情熱を持って貢献していきたいと思っていますので、情報システム部門を志望しています。

# 他社と比べて魅力を感じた？

はい、他の自動車メーカーと比べて、御社だけの魅力を感じて、応募する理由はいくつがあります。

まずは、御社の革新性と技術力に深い共感を覚えています。特に電気自動車の分野でのリーダーシップ、世界で最も売れている電気自動車「リーフ」の成功は、持続可能な社会への貢献という観点からも、大きな魅力を感じました。

また、この前インターンシップに参加させて頂いた際に、先輩方から御社が使っているAmazon Web Servicesの規模と、社内インフラの建設が他社と比較して優位にあるという話を伺いました。

これが御社がデジタル推進事業に真剣に取り組んでいることを示していると考えています。

デジタル技術の活用は、今後の自動車産業においてますます重要になってくると考えて、その先端を行く御社で働くことで、私自身も技術革新に貢献できると信じています。